

専門リハビリテーション研究会
平成 30 年度 地域リハ研究部会 講習会

【講習会名】 利用者の「やりたい」を実現するリハビリテーション

【日 時】 平成 31 年 2 月 3 日(日) 10:00~16:00 (9:30 受付開始)

【場 所】 東都リハビリテーション学院 101 教室

【定 員】 50 名

【会 費】 当研究会 会員・学生 無料 、 会員外 4,000 円

【講 師】 大嶋 伸雄 先生



首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 作業療法科学域 教授
日本認知作業療法研究会・代表理事
日本リハビリテーション・カウンセリング研究会(代表理事:2018年4月より)

【内 容】

ご承知の通り、地域リハビリテーションは病院リハビリテーションとは異なり、生活の場である地域が舞台です。利用者の身体機能、ADL だけでなく、患者の心理や家族関係から、自宅の外にある人間関係の繋がり、社会資源などとのネットワークの維持・構築までわれわれ専門職の活動は多岐に渡ります。

講師の大嶋先生は、「セラピストがやってあげる病院リハ」から「利用者自身が自分で行って自信をつけていく地域リハ」を目指しています。

具体的には、セラピストが利用者の身体機能と心理のバランスをうまく見ながら、認知行動療法に基づく「リハビリテーション・カウンセリング」で介入し、徐々に利用者が自分で行える「自助クライアント」になるような患者教育を中心に実施していきます。その結果、日常生活の基本動作から散歩、趣味や勉強、グループ活動、(役割)仕事など、自発的な行動変容を促通する援助を行ないながら継続的に障害者を支援し、個々の生きがいに結びつく新たな価値観をもたらす、新世代の地域リハビリテーションの創設を提案しています。

また、支援する活動が広がるなか、リハビリテーション専門職をはじめ、保健医療福祉専門職が医療現場で障害者への援助を効率よく行なうためには、職種の垣根を超えた専門職の連携と相互理解によるチーム医療が不可欠です。各専門職がそれぞれの分野から主張するのではなく、チームとしてコミュニケーションを充分にとりながら連携する、新しい地域リハビリテーション・アプローチを提案しています。

今回の講習会では、利用者自身が自分のやりたい事を見つけるための技法や、主体的な生活を送れるためのリハビリテーション・アプローチについて、より実践的に講義していただきます。

作業療法士だけでなく、理学療法士、言語聴覚士、看護師、ケアマネジャーなど多職種が聞ける内容になっています。

【タイムスケジュール】

9:30～受付開始

<午前の部> 講師: 大嶋伸雄先生

10:00～11:00 講義: リハビリテーション・カウンセリングの基礎

11:10～12:10 講義: 認知行動療法の基本

12:10～13:00 昼食

<午後の部> 講師: 大嶋伸雄先生・高山大輔先生・他

13:00～14:00 演習: リハビリテーション・カウンセリングの臨床応用(病院)(1)

14:10～15:10 演習: リハビリテーション・カウンセリングの臨床応用(地域)(2)

15:15～16:00 症例検討: グループワーク討議

16:00 終了

18:00～懇親会(自由参加)

【会場案内】

東都リハビリテーション学院 101 教室 (場所は「新校舎」になります)

住所: 〒153-0044 東京都目黒区大橋 2-4-2 電話: 03-3468-4656

電車をご利用の場合

- 東急田園都市線「池尻大橋駅 北口」より徒歩 7 分
- 京王井の頭線「駒場東大前駅 西口」より徒歩 10 分
- JR 渋谷駅より徒歩 18 分

バスをご利用の場合

- 東急バス「大橋バス亭」より徒歩 2 分



【注意事項】

- ・会場内への飲食物の持ち込みは禁止されています。昼食は会場外でお願いします。
- ・上履き、履物入れは各自でご用意ください。また、履物は間違えのないよう各自でお持ちください。
- ・駐車場はございませんので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

【申し込み】 タイトルを「講習会申し込み」として、①参加者氏名 ②所属 ③職種(PT、OT、ST、ケアマネ、相談員など)④年会費支払の済・未納・会員外をご記入の上、下記の E-mail アドレスへお申し込み下さい。

《申し込み先》 訪問看護ステーションまごころ 野崎紀英 宛

E-mail : st-magokoro@msc.biglobe.ne.jp

【締め切り】 平成 31 年 1 月 25 日までとさせていただきます

【その他】 作業療法士会員の方は、日本作業療法士協会 基礎ポイント 1 ポイントの受講証明書を配布いたします